

授業概要

世界は、2008年9月のリーマン・ショックで経済・金融危機に見舞われました。欧米政府・中央銀行の大規模な資金供給でとりあえず終息しましたが、今度は、ギリシャ・ショックで欧州債務危機が勃発しました。おかげで1999年に導入されたユーロ崩壊による世界恐慌が懸念されました。

本講義では、国際金融市場の基本的仕組みを説明したうえで、第二次大戦後のドル体制の成立、ドル危機、そして、ユーロ導入による、ユーロとドルの対抗、世界金融危機と欧州債務危機について明らかにします。

授業計画

第1回	講義の概要
第2回	国際金融とはなにか
第3回	外国為替相場と外国為替市場
第4回	国際通貨と国際基軸通貨
第5回	国際収支
第6回	国際金融市場とリスク管理
第7回	IMF体制の成立と崩壊
第8回	欧米の資産バブル
第9回	リーマン・ショックと国際金融危機
第10回	アメリカ・中央銀行（FRB）の全面出動
第11回	ヨーロッパの統合の進展
第12回	ユーロ導入と資産バブル
第13回	欧州債務危機の勃発
第14回	欧州中央銀行（ECB）の全面出動
第15回	国際金融市場のゆくえ
第16回	期末試験

到達目標

国際金融市場の基本的な仕組みを理解したうえで、ドル体制の変遷、ユーロ導入のプロセス、その対抗、世界経済・金融危機について理解してもらうことを到達目標とします。

履修上の注意

現実の国際金融市場について講義しますので、新聞などをよく読んでください。30分以上の遅刻は欠席とし、30分以内の遅刻二回で欠席一回とします。

予習復習

講義の予習・復習をおこなってください。そうしないと、講義の内容がわからなくなることもあります。

評価方法

出席と期末試験によって総合的に評価します。

テキスト

教科書は使用せず、適宜、レジメなどを配布します

授業概要

戦後の冷戦下でアメリカは、西側世界の盟主として、社会主義体制への軍事的・経済的な対抗をおこなってきました。西ヨーロッパは、EEC/EC/EUと地域統合を深化させてきました。とくに、アメリカは、対ソ軍事的優位を維持するために軍事技術開発に専念し、日独がアメリカを経済的に支えました。それが、IMF体制といわれるものです。

1991年にソ連邦が崩壊し、冷戦が終結するとアメリカは、ドル体制の維持のために、資産バブルなどによる経済成長を目指しました。ヨーロッパでは、ユーロを導入してアメリカに対抗しようとしてきました。

欧米の資産バブルが崩壊して世界経済危機が勃発しました。ヨーロッパでは、債務危機が発生しました。

欧米諸国は、危機対応で財政出動し、さらに中央銀行が前面に出るようになっていきます。

本講義では、戦後の欧米の経済を歴史的に解説します。

授業計画

第1回	講義の概要
第2回	戦後の冷戦体制
第3回	アメリカの軍事経済の構築
第4回	ヨーロッパ経済共同体（EEC）とヨーロッパ共同体（EC）の成立
第5回	アメリカ・ドル危機の進行
第6回	1970年代の国際金融市場の混乱
第7回	アメリカの金融ビッグバンと英米での新自由主義の採用
第8回	ヨーロッパの市場統合と通貨統合への動き
第9回	1990年代末のITバブル
第10回	ヨーロッパでのユーロの導入
第11回	2000年代初頭の欧米の資産バブル
第12回	リーマン・ショックによる世界経済危機の勃発
第13回	欧米諸国の危機対策
第14回	欧米中央銀行の金融緩和
第15回	第二の冷戦への突入かー国際法違反のロシアによるクリミア編入
第16回	期末試験

到達目標

欧米の戦後の経済発展を理解したうえで、ドル体制の変遷、ユーロ導入のプロセス、その対抗、世界経済・金融危機、世界はいよいよ第二の冷戦に突入するかなどについて理解してもらうことを到達目標とします。

履修上の注意

現実の欧米経済について講義しますので、新聞などをよく読んでください。30分以上の遅刻は欠席とし、30分以内の遅刻二回で欠席一回とします。

予習復習

講義の予習・復習をしてください。そうしないと、講義の内容がわからなくなることもありますので、注意してください。

評価方法

出席と期末試験によって総合的に評価します。

テキスト

教科書は使用せず、適宜、レジメなどを配布します